

会員のひろば

『中江藤樹』の出版

久保田暁一

平成十八年八月、致知出版社（東京都港区）のご助力を得て念願の『中江藤樹』を出版した。私としては、高島が生んだ偉大な先哲として藤樹を顕彰し、藤樹の教えと思想を現代に生かしていきたいと願うての営為であった。

出版されるや、幸いに可なりの反響があり、各地の読者から賛同のメッセージを多くいただいた。中には、頒布に協力して十冊、二十冊と申し込んでくださった方もあった。

私は、この書を二部構成にし、第一部を「藤樹の思想と生涯」、第二部を「先賢の藤樹観」として、藤樹の生涯の生き方と代表的著書の思想内容等を、私自身の視点と体験を踏まえて主體的に書き、藤樹の教えを身近なものにすべく意を注いだ。藤樹の教えと思想と生き方には、今日、学び生かすべき点が誠に多い。多くの人に読んで欲しいと願っている。

紙芝居作りで感じたこと

足立 清勝

お誘いを受け入会させて頂いた時は高島藤樹会設立時で、「藤樹さん」は知っていたつもりでしたが、でも

何も判っていないなかつたと感じました。それからは機会ある毎に、お話を聞き少しずつではあるが、理解できるようにになってきた、今日この頃です。

今、日本は自己中心の、心の荒んだ暗い時代になってきています。

我々一人ひとり自らが、藤樹先生の「五事（貌・言・視・聴・思）を正す」を実践すれば、必ずや人々の心に浸透し、世の中は明るくなると確信しています。一昨年来、子供向け紙芝居作りの活動をおして、私にも藤樹先生の教えを拡める、お手伝いができることを誇りに感じています。

もっと多くの方々賛同して頂き、共に頑張りたいものです。

心掛け

小多 借裕

連日、新聞やテレビで考えられないような残忍で異常な事件や、企業の責任者によるお詫びの報道などされています。皆さんはどの様にお思いでしょうか。幸い、近日中に藤樹先生のお教え「五事を正す」が市内全戸配布されるとお聞きしました。貌・言・視・聴・思について今一度、心してはどうでしょうか。

先日、中学二年生の子ども達と非行に関するテーマ《万引き》について話し合う機会がありました。

みんなは、《万引き》をしたら誰が悲しみ、誰が困り、自分はどうか

るかも充分に知っています。でも「知っていないがやってしまおう、やらせてしまおう、止められなかつた。」と反省しているのです。原因はどこにあるのでしょうか。家庭に？ お店に？ 今の社会に？ にあるのでしょうか。

今一度、親子、隣り近所が和やかな顔で接し、お互いが思いやりのある言葉で話しかけ、澄んだ目で物事を見つめ、人の話に耳を傾けて聴き、真心を込めて相手のことを思う先生の教えを思い起こし、心掛けてみてはいかがでしょうか。

松下亀太郎先生を偲んで

上田藤市郎

去る平成十八年十月十日、本会顧問の松下亀太郎先生が逝去されました。先生は、生涯を教育一筋に奉げられ、多くの子弟と後輩教職員を育てられました。青柳小学校長のときには、副読本『藤樹先生』を完成され、子どもたちが藤樹先生の教えに親しみをもって学べるようになりました。長年日本藤樹学会、近江・関西藤樹会の理事を務められ、その研修会には一度も欠席されませんでした。退職後、畢生の大作『物語中江藤樹』、さらに晩年には『中江藤樹と大溝藩』を著され、一途に藤樹精神の究明と普及を貫かれました。ここに冥福を心よりお祈りいたします。

岡山県内の陽明学ゆかりの地



▶ 関谷学校（備前市）



▶ 備中松山城（高梁市）

寄稿のお願い！

高島藤樹会では、藤樹先生に寄せる熱い思い、ほのかな思いなど、年令を問わず会員はもとより、広く市民の皆さんからの寄稿をお待ちいたしております。

原稿字数 4000字以内

送付先 近江聖人中江藤樹記念館